

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-133813

**(43)Date of publication of application : 21.05.1999**

(51)Int.Cl.

**G03G 21/00**

**G03G 21/00**

**B41J 29/00**

**H04N 1/00**

**(21)Application number : 09-293961**

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 27.10.1997

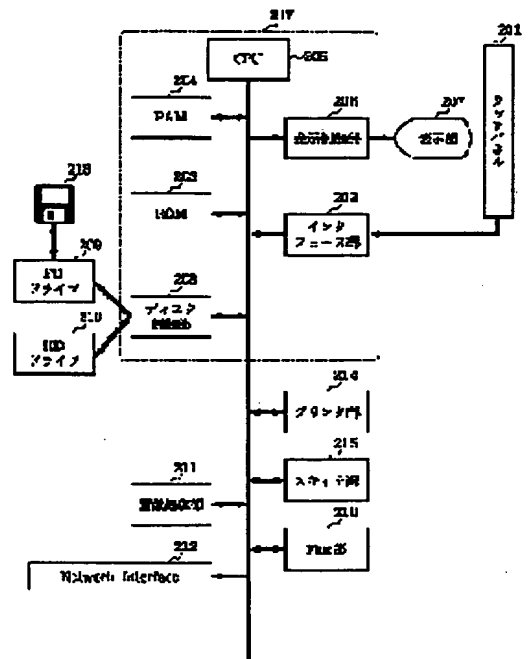
(72)Inventor : WASHIDA HIROMI

## (54) OPERATION MODE SETTING DEVICE

**(57)Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily set a desired operation mode by displaying a corresponding set screen classified by purposes in accordance with the selection of keys classified by the purposes displayed on a display part on the display part.

**SOLUTION:** This device is constituted of a control part 217, an interface part 202, an ROM 203, an RAM 204 and a CPU 205 which store data on the set screens for various operation modes and a control program, a display control part 206 and a disk control part 208. By providing a transparent touch panel 201 on the display part 207 and causing a user to touch the surface of the panel 201, coordinates touched are transmitted to the interface part 202. The interface part 202 transmits the transferred coordinates to the CPU 205. Based on the transferred coordinates, the CPU 205 judges what key of the panel 201 is depressed. The CPU 205 generates the data on tab keys classified by the purposes and the set screens classified by the purposes in accordance with input in the panel 201 and transfers it to the control part 206. The display part 207 performs visible display based on the transferred display data by a full dot LCD.



## LEGAL STATUS

**[Date of request for examination]**

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

**[Date of final disposal for application]**

[Patent number]

**[Date of registration]**

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-133813

(43) 公開日 平成11年(1999) 5月21日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>  
G 0 3 G 21/00  
B 4 1 J 29/00  
H 0 4 N 1/00

識別記号  
3 7 6  
3 8 6

F I  
G 0 3 G 21/00 3 7 6  
3 8 6  
H 0 4 N 1/00 C  
B 4 1 J 29/00 T

審査請求 未請求 請求項の数12 OL (全 27 頁)

(21) 出願番号 特願平9-293961

(22) 出願日 平成9年(1997)10月27日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 鷺田 浩美

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノ  
ン株式会社内

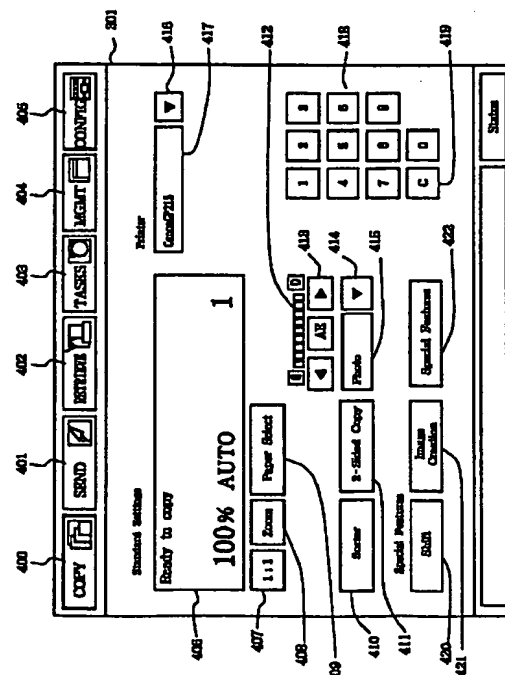
(74) 代理人 弁理士 丸島 健一

(54) 【発明の名称】 動作モード設定装置

(57) 【要約】

【課題】 従来、印刷装置、ファクシミリ、スキャナ、複写機などの複数機能をもつ画像処理装置において、動作モードの設定画面が機能別に別れていたため、操作性に問題があった。

【解決手段】 印刷装置、ファクシミリ、スキャナ、複写機などの機能別の設定画面ではなく、利用者の立場から見た目的別の設定画面を選択するためのタブキー400～405を設ける。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の機能を有する画像処理装置の動作モード設定装置において、

動作モード設定のためのキー入力に応じて表示画面図が変化する表示部と、

上記複数の機能で実行可能な動作を目的別に分類した設定画面を選択するための目的別キーを上記表示部に表示させる第1の表示制御手段と、

上記表示部に表示された目的別キーの選択に応じて対応した目的別の設定画面を上記表示部に表示させる第2の表示制御手段と、を有することを特徴とする動作モード設定装置。

【請求項2】 上記複数の機能は複写機能、ファクシミリ機能、プリンタ機能を有することを特徴とする請求項1記載の動作モード設定装置。

【請求項3】 上記目的別キーは複写、データ送信、データ取り出しを含むことを特徴とする請求項2記載の動作モード設定装置。

【請求項4】 上記目的別の設定画面毎に設定画面の色を異ならせることを特徴とする請求項1記載の動作モード設定装置。

【請求項5】 複数の機能を有する画像処理装置の動作モード設定の制御方法において、  
上記複数の機能で実行可能な動作を目的別に分類した設定画面を選択するための目的別キーを表示部に表示させる第1の表示ステップと、  
上記表示部に表示された目的別キーの選択に応じて対応した目的別の設定画面を上記表示部に表示させる第2の表示ステップと、を有することを特徴とする動作モード設定の制御方法。

【請求項6】 上記複数の機能は複写機能、ファクシミリ機能、プリンタ機能を有することを特徴とする請求項5記載の動作モード設定の制御方法。

【請求項7】 上記目的別キーは複写、データ送信、データ取り出しを含むことを特徴とする請求項6記載の動作モード設定の制御方法。

【請求項8】 上記目的別の設定画面毎に設定画面の色を異ならせることを特徴とする請求項5記載の動作モード設定の制御方法。

【請求項9】 複数の機能を有する画像処理装置で実行可能な動作を目的別に分類した設定画面を選択するための目的別キーを表示部に表示させる第1のステップと、  
上記表示部に表示された目的別キーの選択に応じて対応した目的別の設定画面を上記表示部に表示させる第2のステップと、を有する、マイクロプロセッサが理解できるプログラムを記憶した記憶媒体。

【請求項10】 更に、上記プログラムが上記目的別の設定画面毎に設定画面の色を異ならせるステップを有することを特徴とする記憶媒体。

【請求項11】 上記複数の機能は複写機能、ファクシ

ミリ機能、プリンタ機能を有することを特徴とする請求項10記載の記憶媒体。

【請求項12】 上記目的別キーは複写、データ送信、データ取り出しを含むことを特徴とする請求項11記載の記憶媒体。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、印刷装置、ファクシミリ、スキャナ、複写機などの複数機能をもつシステムにおける、動作モードを設定する装置の動作目的別の設定画面表示に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、印刷装置、ファクシミリ、スキャナ、複写機などの複数機能をもつ画像処理装置において、種々の機能が搭載されており、利用者はその装置或いはシステムがどのような種類の機能を搭載しており、その各機能を利用した際にどのような動作が行われるのかを既知の上で、各自の使用方法にあわせて、まず利用する機能を選択した後、各機能に合わせた設定画面から、各自の利用に合わせた動作モードを設定をする必要があった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、複数の機能を有する画像処理装置或いはシステム構成においては、利用者は、実現したい事項に対して、システム上のどのような機能で何を行うかを、利用者自身が選択する必要がある。利用機能の選択は、操作に不慣れな操作者にとっては、所望の機能を実現するための設定画面の表示のさせかたや、設定画面を表示させた後の更なる選択が非常に複雑なものとなる。

【0004】例えば、データを遠隔地に送信する場合、画像処理装置がどのような送信機能を持っているかを理解していないと所望とする送信機能の設定画面を表示させるのに手間どってしまうという欠点がある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】そこで、印刷装置、ファクシミリ、スキャナ、複写機などの機能で設定画面を選択するのではなく、利用者の立場からみた、目的別に分けて設定画面を選択して動作モードを設定させることにより、所望の動作モードの設定を容易にするものである。

【0006】上記目的を達成するために、本発明は、複数の機能を有する画像処理装置の動作モード設定装置において、動作モード設定のためのキー入力に応じて表示画面図が変化する表示部と、上記複数の機能で実行可能な動作を目的別に分類した設定画面を選択するための目的別キーを上記表示部に表示させる第1の表示制御手段と、上記表示部に表示された目的別キーの選択に応じて対応した目的別の設定画面を上記表示部に表示させる第2の表示制御手段と、を有するものである。

【0007】また本発明は、複数の機能を有する画像処理装置の動作モード設定の制御方法において、上記複数の機能で実行可能な動作を目的別に分類した設定画面を選択するための目的別キーを表示部に表示させる第1の表示ステップと、上記表示部に表示された目的別キーの選択に応じて対応した目的別の設定画面を上記表示部に表示させる第2の表示ステップと、を有するものである。

【0008】また、本発明は、複数の機能を有する画像処理装置で実行可能な動作を目的別に分類した設定画面を選択するための目的別キーを表示部に表示させる第1のステップと、上記表示部に表示された目的別キーの選択に応じて対応した目的別の設定画面を上記表示部に表示させる第2のステップと、を有する、マイクロプロセッサが理解できるプログラムを記憶した記憶媒体にある。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して、本発明の一実施形態を詳細に説明する。

【0010】図1は、本発明を適用できる基本的なシステム構成を示す図である。図1において、1および2は、ネットワーク6に接続されている他の装置へのサービス要求送信基となるホストコンピュータである。3は、ネットワーク接続されたホストコンピュータ2によって管理されている装置（プリンタ）であり、4、5は、ネットワーク接続された装置（例えば、プリンタ、複合複写機など）で、それぞれの装置の処理機能及び能力が一致しているとは限らない。

【0011】1、3、4、5は、それぞれネットワーク6に接続されており、ホストコンピュータ1、2はそれぞれ各装置3～5を使用することができる。

【0012】図2は本発明を適用できる図1のネットワーク6に接続可能な複合機の構成をあらわすブロック図である。217は制御部であり、インターフェース制御部202、ROM203、RAM204、CPU205、表示制御部206、ディスク制御部208からなる。透明なタッチパネル201が表示部207の上に設けられており、ユーザがその表面をタッチすることでタッチされた座標がインターフェース部202に送られる。インターフェース部202では、転送されてきた座標をCPU205に送っている。CPU205では、転送されてきた座標に基づいてタッチパネル201のどのキーが押されたのかを判断している。203は各種動作モードの設定画面のデータ、制御プログラム等を記憶するROMである。204は現在の設定状態のデータやプログラム等を記憶するRAMである。CPU205は、装置の状態およびユーザによるタッチパネル201への入力に応じた目的別タブキー、目的別設定画面のデータを構成して、表示制御部206に転送する。表示部207はフルドットLCDで、表示制御部206より転送された表示データに基づいて可視表示する。

【0013】209は外部記憶装置であり、プログラム及びデータを格納しておき、実行時に必要に応じて参照したり、RAM204へロードしたりする。213は、外部記憶装置209に挿入されるフロッピーディスクや光磁気ディスク等の着脱自在な記憶媒体である。208はディスク制御部であり、データ伝達等の制御を行なうものである。210はハードディスク等の外部記憶装置である。ネットワークに接続された機器から必要な処理要求を発生されると、ハードディスク210からプログラムがRAM204にロードされプログラムが起動される。起動したプログラムは、必要に応じて外部記憶装置210に格納されたデータや情報をRAM204上にロードする。

【0014】215は原稿画像を読み取るスキャナ部、211はスキャナ部215等から入力した画像を処理する画像処理部、212はネットワークのインターフェース部、214はプリンタ部、216は画像をファクシミリ送信したりファクシミリ受信するファクシミリ送受信部である。

【0015】この複合機は、CPU205が基本I/Oプログラム、OS及びネットワーク接続装置管理プログラムを実行することにより動作する。基本I/OプログラムはROM202に書き込まれており、OSは外部記憶装置210に書き込まれている。そして、本システムが起動する際に、基本I/Oプログラム中のIPL（イニシャルプログラムローディング）機能により外部記憶装置210からOSがRAM203に読み込まれ、OSの動作が開始される。

【0016】図3は複合機の操作部を示す図である。301は図2の表示部207及びタッチパネル201からなるタッチパネルディスプレイであり、各種キーの表示やキー入力を行うためのものである。302は各種動作を開始させるスタートキー、303は各種動作を停止させるストップキー、304は設定した動作モードを予め決められた標準の動作モードにするリセットキーである。

【0017】図4は、図3のタッチパネルディスプレイ301の表示画面の例である。ここではコピーの画面が選択されている状態を示している。

【0018】400、401、402は目的別タブキーであり、それぞれコピー、送信、検索（取り出し）といった目的に対応する。即ち、従来、コピー機能、ファクス機能、プリンタ機能、ファイル機能等といった機能別に設けられていた選択キーではなく、操作者側の立場から見たデータのコピー、データの送信、データの取り出しといった目的別のキーとして設けられている。

【0019】403はタスク機能を選択するためのタブキーであり、定期的に取り出しを行うタスクの生成・管理を行う。例えば、FAXやインターネットプリントなどの外部から送られるドキュメントを自動処理するためのタスクの生成・管理を行うことが可能である。

【0020】404は管理機能を選択するためのタブキーであり、ジョブ・アドレス帳・ブックマーク・ドキュメント・アカウント情報などの管理を行う。

【0021】405は環境設定画面を選択するためのタブキーで、自機器に関する各種設定（ネットワーク・時計など）を行う。

【0022】図5は動作モード設定の一例を示すフローチャートで、機能の選択ではなく、目的別の処理を選択することにより動作モードの設定を行う。

【0023】S500を処理の開始とし、S501では操作者による目的別タブキーの選択が行われる。ここで、タブキーが選択されなければ、S500へと戻る。処理目的として、自機が有するスキャナとプリンタを使用して通常のドキュメント複写を行わせたり、自機が有するスキャナとネットワークで接続されたプリンタを使用してドキュメントの複写を行う機能を選択するためにCOPYタブキー400が選択されると、S502でコピー設定画面表示を行う。次に、S503で設定画面における操作者の入力操作に従って画像を読み込むための動作モードの設定を行う。同様にS504で出力先に関する設定を行う。スタートキーが押されるまでは、別の処理目的のための設定を行うためにS501のタブキー選択にもどってもよい。それまでの設定は、保持された状態である。設定が終了したら、S505でスタートキー302が押されたと判定すると、設定された動作モードに従ってコピー動作を実行する。スタートキー302により指示された動作開始後、S506で動作が未完了のうちにストップキー303を押した場合は動作が途中で中止され、S502でCOPY設定画面の初期状態へ戻る。S506でストップキーが押されなければ、S507で処理終了となる。処理目的として、自機が有するスキャナに置かれたドキュメントを、電子メール・リモートプリンタ・FAX・ファイル転送（FTP）及びデータベースに転送するような、送信処理を要求する場合は、SENDタブキー401を選択し、S508で送信設定画面表示を行う。次にS509で送信元の画像読み込みに関する設定を行う。次にS510で送信先がどこであるのかを設定する。次に、S511で前述で設定された送信先別に送信方法の設定を行う。ここで、プリンタに送る、Emailで送る、FAXで送る、データベースに保存するということが選択される。ここまでの処理においては、どの時点においても、別の処理目的のための設定を行うためにS501のタブキー選択にもどってもよい。それまでの設定は、RAM204に保持された状態である。設定が終了したら、S512でスタートキー302が押されたか否か判定し、押されていれば、設定された動作を開始する。動作開始後、S513で動作が未完了のうちにストップキー303を押した場合は動作が途中で中止され、S508の送信設定画面の初期状態へ戻る。S513でストップキー303が押されなければ、S514で処理終了となる。処理目的として、WWW・電子メール・ファイル転送およびFAXを用いて、外部にあるドキュメント取得し、自機が有するプリンタに印刷するような、データの取り出しを要求する場合は、RETRIEVEタブキー402を選択し、S515で取り出し（RETRIEVE）設定画面表示を行う。

次にS516で受信元（自機）の画像出力に関する設定を行う。次に、S517で前述で受信方法の設定を行う。ここで、WWW形式で受信、E-mail受信、FAX受信、FTP受信ということが選択される。次にS518でデータの取得先がどこであるのかを設定する。ここまでの処理においては、どの時点においても、別の処理目的のための設定を行うためにS501のタブキー選択にもどってもよい。それまでの設定は、RAM204に保持された状態である。設定が終了したら、S519でスタートキー302が押されると、設定された動作を開始する。動作開始後、S520で動作が未完了のうちにストップキー303を押した場合は動作が途中で中止され、S515でRETRIEVE設定画面の初期状態へ戻る。S520でストップキー303が押されなければ、S521で処理終了となる。

【0024】コピータブキー400を押してコピーを行う場合、自機以外のプリンタを選択してコピーを行うことができるが、選べるプリンタはプリント動作を実行中ではないプリンタに限られる。

【0025】送信タブキー401を押してリモートのプリンタヘータを送信する場合は、選択されたプリンタがプリント動作中でもあっても良い。

【0026】再び図4の説明を行う。本設定画面で設定を行い、スタートキー302を押すと、スキャナ215が動作するが、スキャナ動作中はカテゴリの変更を含む全ての設定を変更することが出来ない。

【0027】406はコピーパラメータ表示領域であり、スタンバイ状態では“Ready to copy”（初期状態）または“Ready to copy (w/settings)”（白黒反転表示：初期状態から何らかの設定がなされた場合）が表示される。スキャナ215動作中は“Copying”が表示される。初期化時、リセット時には“Ready to copy”に戻る。また、選択されている倍率が%で表示され、選択されている給紙モード（定型サイズまたは自動用紙選択）が表示され、設定されたコピー部数が表示される。

【0028】プリンタ表示領域417には、リモートコピーとしてネットワークに接続されたプリンタの名称が表示されている。プリンタ選択ボタン416を押す事によって、図6に示すように現在使用可能なリモートプリンタの一覧601がプルダウン表示され、その中から使用するプリンタを選択する。表示されるプリンタの中には自機（Local Printer）も含まれる。

【0029】等倍設定ボタン407を押すと、コピーパラメータ表示領域406に“100%”が表示される。ZOOMボタン408を押すと、ズーム倍率が設定される。PAPER SELECTボタン409を押すと、用紙サイズの設定画面（図19）が表示される。SORTERボタン410を押すと、ソートモードの設定画面（図20）が表示される。TWO SIDED COPYボタン411を押すと、両面コピーの設定画面（図21）が表示される。

【0030】412は温度の設定状態を表示し、温度調整

ボタン413によって手動濃度または自動濃度(AE)を設定する。Image Quality表示領域415には現在の画像種別が表示されている。Image Quality選択ボタン414を押すと、図6に示すようにPhoto Text(文字/写真)、Text(文字)、Photo(写真)のリスト602がプルダウン表示され、その中から1つを選択する。テンキー418を押す事により、コピー部数の設定を行う。コピー部数は、コピーパラメータ表示領域406に表示される。最初に数字を押すと一桁目に入り、次に数字が押されると最初に押された数字が2桁目に移動し、後に押された数字が一桁目に入る。Clearクリア419ボタンを押すと、部数は1に変更される。

【0031】また、これらの設定順序は不同であり、いかなる設定順序で行っても異なる動作をすることはない。

【0032】図7は、目的別タブキーの選択として、SENDタブキー401が選択された場合の設定画面の一例である。本設定画面で設定を行い、スタートボタン302を押すと、スキャナ215が動作するが、スキャナ動作中はカテゴリの変更を含む全ての設定を変更することが出来ない。

【0033】宛先表示領域701にはADDRESS BOOKボタン702またはNEWボタン703を押す事により新規に入力された宛先の一覧が図8に示すように表示される。入力は順次末尾に追加される。表示は一件分の項目に付き複数行を使用して行われる。第1行目706は名前(アドレス帳から選択することによって入力された場合)または"Member N"(新規に入力された場合)が表示される。アドレス帳から選択された場合の名前はアドレス帳のdn属性の値が使用される。新規に入力された場合のNは、初期状態から入力された順番が数字で示される。2行目707以降は、各宛先に対する宛先の種類(アイコンで表示)及び詳細な宛先(電子メールアドレス・FAX番号・プリンタのアドレスおよびFTPのURL)が表示される。(以下の記述において、1行目に表示される内容を「概要宛先」(706)、2行目以降に表示される内容を「詳細宛先」(707)と呼ぶ。)

【0034】初期化時(リセット時も含む)には宛先表示領域には、1つの宛先も表示されていない。宛先表示領域701に表示されている一覧は、概要宛先706と詳細宛先707を含めどれか一つの行を押す事によって選択表示状態とすることが出来る。概要宛先706が選択された場合には、そこに含まれるすべての詳細宛先が選択されたことになる。選択表示状態とすることが出来るのはどれか1行に限られ、現在選択されている行を再度押す事により、または現在選択されていない行を押す事により選択表示状態を通常の表示状態に戻す事が出来る。入力できる最大詳細宛先数は宛先表示領域全体で20とする。

【0035】708は現在設定されている宛先の数(詳細宛先の数)であり、初期化時(リセット時も含む)には

0が表示されている。709は上向きスクロールボタンと下向きスクロールボタンであり、宛先の一覧が表示領域701に入りきらない場合は、これらのボタンを押す事により詳細宛先の1つの項目毎にそれぞれ下または上に一覧が移動する。ADDRESS BOOKボタン702を押すと、アドレス帳を表示しその中から宛先を選択するための設定が可能となる。NEWボタン703を押すと新規に詳細宛先707の入力が可能となる。概要宛先706または詳細宛先707を選んだ後にEDITボタン704を押すと、選択された概要宛先706または詳細宛先707の設定を入力または変更することが可能である。概要宛先706または詳細宛先707を選んだ後にDELETEボタン705を押すと、選択された概要宛先706または詳細宛先707が削除される。詳細宛先707が削除された結果、1つの詳細宛先を持たなくなった概要宛先707も宛先リストから削除される。SUBJECT入力領域710、MESSAGE入力領域711、FILENAME入力領域712を押すと図10に示すようなフルキーボード717が表示され、mail送信のための項目、メッセージや外部記憶装置209、210へ送信するためのファイル名の入力を行う事が出来る。初期化時(リセット時も含む)には何も表示されていない。COVER PAGEチェックボタン713は送信するものについて表紙をつけるか否かを設定するものであり、押すたびにチェックが表示されたり消去されたりを繰り返す。PUT INTO HDチェックボタン714は、チェックが表示されていない状態で押すと、外部記憶装置209、210へ送信するための設定が可能となる。チェックが表示されている状態で押すとチェックが消去される。初期化時(リセット時も含む)にはチェックは表示されない。PRINT OUTチェックボタン715は、チェックが表示されていない状態で押すとプリント機能に関する設定が可能となる。チェックが表示されている状態で押すとチェックが消去される。初期化時(リセット時も含む)にはチェックは表示されていない。SCAN SETTINGボタン716上には現在設定されているスキャナの設定、スキャンモードを表すアイコン、スキャンモードのタイトル、用紙サイズが表示されている。SCAN SETTINGボタン716を押すと、画像読み取りに関する設定が可能となる。また、これらの設定順序は不同であり、いかなる設定順序で行っても異なる動作をすることはない。

【0036】図11は、目的別タブキーの選択として、RETRIEVEタブキー402が選択された場合の設定画面の一例である。本設定画面でスタートボタン302を押すと、WWWサブ画面の設定として動作する。WWWサブ画面800が表示されているときにスタートボタンを押すと、サブ画面800上の設定に従ってホームページが印刷される。ただし、URL入力領域805に何も表示されていない時にスタートボタン302が押されても何も機能しない。スタートボタン302が押された直後にWWWサブ画面800上の設定は初期値にリセットされ、ステータス表示領域823(図12)に以下のメッセージが表示される。

“Retrieving from http://X...”

【0037】但しXの内容は、URL入力領域に入力されていた文字列である。URL入力領域805を押すと図12に示すようなフルキーボード817が表示され、URLの入力・編集を行う事が出来る。初期化時（リセット時も含む）には何も入力されていない。LINKDEPTH入力領域806を押すと図13に示すようなテンキーボード818が表示され、LINK DEPTHの入力・編集を行う事が出来る。入力可能なLINK DEPTHの値は0から10までである。初期化時（リセット時も含む）には0が表示されている。LINK DEPTHカウントアップダウンボタン807を押す事により、LINK DEPTHの値を1つつ増加または減少させる事が出来る。LINK DEPTHが最大値または最小値を超える場合は、それぞれカウントアップダウンボタン807は押しても機能しない。MAX PAGES入力領域808を押すと同様にテンキーボード818が表示され、MAX PAGESの入力・編集を行う事が出来る。入力可能なMAX PAGESの値は0から99までである（0は無制限を意味する）。初期化時（リセット時も含む）には0が表示されている。MAX PAGESカウントアップダウンボタン809を押す事により、MAX PAGESの値を1つつ増加または減少させる事が出来る。MAX PAGESが最大値または最小値を超える場合は、それぞれカウントアップダウンボタン809は押しても機能しない。LIST OF LINKSチェックボタン810にチェックが表示されていない場合にチェックボタンを押すと、チェックが表示される。チェックが表示されている場合に押すと、チェックが消去される。OTHER DOMAINチェックボタン811にチェックが表示されていない場合にチェックボタンを押すと、チェックが表示される。チェックが表示されている場合に押すと、チェックが消去される。PRINT BACKGROUNDチェックボタン812にチェックが表示されていない場合にチェックボタンを押すと、チェックが表示される。チェックが表示されている場合に押すと、チェックが消去される。初期化時（リセット時も含む）にはチェックは表示されていない。BOOK MARKボタン813を押すと、BOOK MARKIに関する設定画面（図28）が表示される。ブックマーク表示領域1004には、外部記憶装置209、210等に記憶されているブックマークが一覧として表示される。PUT INTO HDチェックボタン816は、チェックが表示されていない状態で押すと外部記憶装置209、210へ送信するための設定画面（図29）が表示される。チェックが表示されている状態で押すとチェックが消去される。初期化時（リセット時も含む）にはチェックは表示されていない。

【0038】図14に示すPrintSettingボタン819を押すと、印刷に関する設定画面（図30）が表示される。また、これらの設定順序は不同であり、いかなる設定順序で行っても異なる動作をすることはない。

【0039】また、e-mail, Fax, FTPの各サブタブキー802, 803, 804を押すと、それぞれ図15、図16、図17に示

す画面820, 821, 822が表示される。サブ画面800, 820, 821, 822での設定途中に各サブタブキー801, 802, 803, 804の選択は可能であり、各サブタブキーが選択された場合には、現在の設定状態を保存したまま、選択されたサブタブキーに対応したサブ画面を表示することが可能である。

【0040】以上のように、複数の機能を有するシステム構成において、利用者側からの設定を、システムの機能別に分けて設定させるのではなく、利用者の立場からみた、目的別に分けて設定させるために、設定画面へ目的別のタブとそれに対応した目的別の設定画面を設け、可視表示することにより、利用者がシステム上の各機能がどのような動作を行うのかを理解していなくてもシステム利用のための設定が可能となる。

【0041】次にコピー設定画面（図4）における各キーの詳細について説明する。この設定画面上においてZOOMボタン408を押すと、図18に示すZOOMサブダイアログ603が表示される。ZOOMサブダイアログ603には、ズーム倍率指定のための+、-ボタン605、定型倍率ボタン604と倍率表示領域606がある。初期化時（リセット時も含む）には定型倍率ボタン604は選択されていない状態で、倍率表示領域606には100%が設定されており、その後は最後に選択された値が設定された状態となっている。更に、ZOOMサブダイアログ603には、OKボタン608とキャンセルボタン609もある。OKボタン608を押すとサブダイアログはクローズされ、最後に押された倍率がCOPYパラメータ表示領域406に表示される。キャンセルボタン609を押した場合はサブダイアログはクローズされ、COPYパラメータ表示領域406の内容は変更されない。その他のボタン607（ZoomProgram, XYZoom, Multi-pg Enlarge）も、COPY機能に関する詳細設定のためのボタンである。

【0042】PAPER SELECTボタン409を押すと、図19に示すようなPAPER SELECTサブダイアログ633が表示される。PAPER SELECTサブダイアログ633には、Auto Paper Selectボタン611・STACK BYPASSボタン613・Stack Bypass Sizeボタン614及び定型用紙ボタン612、現在選択されている用紙カセットを示す機器表示のアイコン610がある。初期化時（リセット時も含む）には1段目カセットに入っている用紙選択ボタンが選択された状態となっており、その後は最後に押されたボタンが選択された状態となっている。PAPER SELECTサブダイアログ633には、OKボタン615とキャンセルボタン616もある。OKボタン615を押すとサブダイアログ633はクローズされ、最後に押された倍率がCOPYパラメータ表示領域406に設定される。キャンセルボタン616を押した場合はサブダイアログ633はクローズされ、COPYパラメータ表示領域406の用紙サイズは変更されない。

【0043】SORTERボタン410を押すと、図20に示すようなSORTERサブダイアログ617が表示される。SORTERサ



ブダイアログ617には、Sortボタン618・Staple Sortボタン619・Group Sortボタン620がある。初期化時（リセット時も含む）にはどのボタンも選択されていない状態となっており、その後は最後に押されたボタンが選択された状態となっている。Sortサブダイアログ617には、OKボタン621とキャンセルボタン622もある。OKボタン621を押すとサブダイアログ617はクローズされ、サブダイアログ617上で設定された内容がSORTERボタン410の表面に表示される。（何も設定されなければ表示されない。）キャンセルボタン622が押された場合は、サブダイアログ617はクローズされ、サブダイアログ617上で設定された内容は反映されない。

【0044】TWO SIDED COPYボタン411を押すと、図21に示すようなTWO SIDED COPYサブダイアログ623が表示される。TWO SIDED COPYサブダイアログ623上には、片面-両面ボタン624・両面-片面ボタン625・両面-両面ボタン626・ブック両面ボタン627およびAuto Countingチェックボタン628・奇数ボタン629・偶数ボタン630がある。Auto Countingチェックボタン628が選択された場合は、奇数ボタン629、偶数ボタン630はグレー表示となり選択不可能となる。また、Auto Countingチェックボタン628が選択されていない場合は、奇数ボタン629、偶数ボタン630のいずれかが選択可能となる。初期化時（リセット時も含む）には各両面モードボタン624～627と原稿オートカウントボタン628のどちらも選択されていない状態となっており、その後は最後に押されたボタンが選択された状態となっている。TWO SIDED COPYサブダイアログ623には、OKボタン631とキャンセルボタン632もある。OKボタン631を押すとサブダイアログ623はクローズされ、サブダイアログ623上で設定された内容がTWO SIDED COPYボタン411の表面に表示される。（何も設定されなければ表示されない。）キャンセルボタン632が押された場合は、サブダイアログ623はクローズされ、サブダイアログ623上で設定された内容は反映されない。

【0045】以上のサブダイアログ603、633、617、623がそれぞれのOKボタン、キャンセルボタンによりクローズした後は、それぞれのサブダイアログにおける設定が反映された状態の元のCOPY設定画面へ遷移する。

【0046】次に、SEND設定画面（図7）における各キーの詳細について説明する。この設定画面でPUT INTO HDチェックボタン（1010）をチェックが表示されていない状態で押すと図22に示すHD SETTINGサブダイアログ901が表示される。チェックが表示されている状態で押すとチェックが消去される。HD SETTINGサブダイアログ901ではデータベースへの転送に関する設定が可能である。OKボタン902が押されるとサブダイアログ901はクローズされ、PUT INTO HDチェックボタンにチェックが表示される。キャンセルボタン903が押されるとサブダイアログ901はクローズされ、PUT INTO HDチェックボタン714にチェックは表示されない。PRINT OUTチェックボタン715を

チェックが表示されていない状態で押すと図23に示すようなPRINT OUTサブダイアログ904が表示される。チェックが表示されている状態で押すとチェックが消去される。OKボタン917が押されるとサブダイアログ904はクローズされ、PRINT OUTチェックボタン715にチェックが表示される。キャンセルボタン918が押されるとサブダイアログ904はクローズされ、PRINT OUTチェックボタン715にチェックは表示されない。初期化時（リセット時も含む）にはチェックは表示されていない。

【0047】PRINT SETTING設定状態表示アイコン905は、プリンタの現在の設定状態を絵で表示したものである。部数表示領域906には印刷する部数が表示されている。カウントアップダウンボタン960を押すと部数が1ずつ増加または減少する。ボタンを押し続けると連続的に増加・減少する。初期化時（リセット時も含む）には1が表示されている。

【0048】PAPER SELECT表示領域908には、印刷に使用する紙の大きさ・向きが表示されている。PAPER SELECT選択ボタン907を押す事によって選択可能な内容がプルダウン表示され、その中から使用する用紙の大きさ・向きを選択する。ZOOM表示領域910には拡大縮小率が表示されている。カウントアップダウンボタン909を押すと拡大縮小率が1%毎に増加または減少する。ボタンを押し続けると連続的に増加・減少する。入力することの出来る値は、25から400までである。初期化時（リセット時も含む）には100が表示されている。チェックが表示されていない状態でDuplexチェックボタン911が押されると、チェックが表示される。チェックが表示されている状態で押されると、チェックが消去される。初期化時（リセット時も含む）にはチェックは表示されていない。

【0049】SORTER表示領域913には、選択されているソートモードが表示されている。SORTER選択ボタン912を押す事によって選択内容がプルダウン表示され、その中から使用するソートモードを選択する。RESOLUTION表示領域915には、印刷に使用する解像度が表示されている。カウントアップダウンボタン914により、選択可能な解像度がRESOLUTION表示領域915に表示される。OKボタン917を押すと設定が保存され、キャンセルボタン918を押すと設定は破棄される。いずれの場合もボタンが押されるとサブダイアログ904はクローズされる。

【0050】PRINT SETTINGサブダイアログ904には更に、MARGINボタン・SHIFTボタン・OVERLAYボタン・N on 1ボタン・IMAGE CREATIONボタンなど、プリンタに関するその他の設定ボタン916が設けられ、これらにより詳細設定が可能である。

【0051】また、図9のSCAN SETTINGボタン716には現在設定されているスキャナの設定、スキャンモードを表すアイコン、スキャンモードのタイトル、用紙サイズが表示されている。SCAN SETTINGボタン716を押すと、

図24に示すようなSCAN SETTINGサブダイアログ919が表示される。Presetモード選択領域920は、スキャン設定のプリセットモードを表す以下のアイコンが表示されている。

Photo: 300dpi, Gray, AE ON

Text: 200dpi, Black & White, AE ON

Photo Text: 200dpi, Gray, AE ON

News Paper: 400dpi, Black & White, AE OFF: インジケータ2ステップ薄目

Draft (10345): 100dpi, Black & White, AE OFF: インジケータ真中

Not Defined: (選択できない)

【0052】表示されている各アイコンはそれぞれ押す事によって選択表示状態とすることが出来る。選択表示状態とすることが出来るのはどれか一つのアイコンに限られ、現在選択されていないアイコンを押す事によって現在選択されているアイコンの選択表示状態を解除することが出来る。アイコンのいずれかを選択すると、選択されたアイコンの内容がRESOLUTION表示領域925・SCAN MODE表示領域927・Exposure領域928に表示される。SCAN SETTINGサブダイアログ919が表示された直後は、Photo Textのアイコンが選択されている。SCAN SETTING情報表示領域921には、現在選択されているモードのアイコンと現在設定されている状態から計算される画像のデータサイズがKBを単位として表示される。PAPER SELECT表示領域923には、現在設定されているスキャンする領域の大きさ・向きが表示されている。PAPER SELECT選択ボタン922を押す事により設定可能な内容がプルダウン表示され、その中から使用する用紙の大きさ・向きを選択する。

【0053】RESOLUTION表示領域925には、現在設定されているスキャンの解像度が表示されている。RESOLUTION選択ボタン924を押す事によって設定可能な内容がプルダウン表示され、その中から使用する解像度を選択する。SCAN SETTINGサブダイアログ919が表示された直後には、Photo Textモードの設定内容が表示されている。SCAN MODE表示領域927には、現在設定されているスキャンのモードが表示されている。SCAN MODE選択ボタン926を押す事によって設定可能な内容がプルダウン表示され、その中から使用するSCAN MODEを選択する。SCAN SETTINGサブダイアログ919が表示された直後には、Photo Textモードの設定内容が表示されている。Exposureインジケータ928は露光量の設定状態を表示し、ボタン929によってExposureを手動または自動設定する。SCAN SETTINGサブダイアログ919が表示された直後にはAEが選択された状態となっており、インジケータ926には表示がされない。増加または減少ボタンを押す事によりインジケータ928が表示される。OKボタン933を押すと設定は保存され、キャンセルボタン934を押すと設定は破棄される。いずれの場合もボタンが押されるとサブダイアログ

919はクローズされる。

【0054】SCAN SETTINGサブダイアログ919には、更にスキャナ機能を設定するための右スクロール左スクロールボタン935・Settingボタン936・ERIASIGNボタン930・OVERLAYボタン931・SHARPNESSボタン932が設けられている。

【0055】図7の設定画面でADDRESS BOOKボタン702を押すと、図25に示すようなADDRESSBOOKサブダイアログ937が表示される。アドレス帳表示領域938には自機が有するローカルアドレス帳の内容が、各種ソート項目に従ってソートされて表示されている。1件が1行として表示され、1行内の表示項目は左から、選択マーク939（または空白）、クラス（アドレス帳のclass属性の値）を表すアイコン940、名前（アドレス帳のdn属性の値）である。表示されているアドレス帳は、1つの行を押す事により選択表示状態（バックグラウンドの色が変更された状態）とすることが出来る。選択表示状態とすることが出来るのはどれか1行に限られ、現在選択されている行を再度押す事により、または現在選択されていない行を押す事により選択表示状態を通常の表示状態に戻す事が出来る。

【0056】選択マーク939が表示されていない行を選択表示状態とすると選択マーク939が表示される。選択マークは選択表示状態を解除しても表示され続ける。選択マーク939は同時に複数行で表示させることが可能である。選択マーク939が表示されている行を選択表示状態とすると、表示されている選択マークは消去される。ADDRESS BOOKサブダイアログ937が表示された直後は、ローカルアドレス帳が表示されており、選択マークは1つも表示されていない。項目選択件数表示領域962は、アドレス帳表示領域938で選択マークのつけられた件数を表示する。表示可能なのは3桁の数字である。

【0057】ソート項目設定ボタンは、現在表示されている項目のソート条件を設定するものであり、名前がABC...の順番にソートされるName (Ascending) 964ボタン、名前がZYX...の順番にソートされるName (Descending) 965ボタン、グループ・人・プリンタ・DataBase別にソートされるClass 963ボタンがある。選択されたソート項目設定ボタンは色が変わる。ADDRESS BOOKサブダイアログ937が表示された直後は、Name (Ascending) 964ボタンが選択されている。また、アドレス帳が表示領域938に入りきらない場合、上向き下向きスクロールボタン944を押すことにより、1行毎に下または上に一覧が移動する。

【0058】SEARCHボタン942を押すと、図26に示されているようなローカルアドレス帳または外部に保持されている、宛先に関する情報から宛先を検索するためのSEARCHサブダイアログ947が表示される。

【0059】アドレス帳表示領域938、サーチ結果表示領域949の中の1つの行を選択した後にDETAILボタン943

または950を押す事により、図27に示すような選択された行の情報を表示させるためのDETAILサブダイアログ955が表示される。ここに表示される情報は、選択された行の情報としてアドレス帳から得られるすべての情報を列挙する。アドレス帳表示領域938の行を選択せずにDETAILボタン943を押しても機能しない。

【0060】OKボタン945を押すとADDRESS BOOKサブダイアログ937がクローズされ、SEND設定画面(図7)が表示される。選択マークが表示された行の情報はSEND設定画面の宛先一覧701に追加される。追加された結果、詳細宛先706の最大数を超える場合は、その旨を表示するエラーダイアログが表示され、最大数を超えない分の宛先のみが追加される。キャンセルボタン946を押すとADDRESS BOOKサブダイアログ937がクローズされ、SEND設定画面(図7)が表示される。一旦サブダイアログ937がクローズされると選択マークの表示はクリアされる。

【0061】図26のSEARCHサブダイアログ947において、検索条件設定領域948では、ローカルアドレス帳または外部にある宛先に関する情報を検索するための件数条件に関する設定が可能である。サーチ結果表示領域949にはサーチ結果が表示される。1件が1行として表示される。ADDRESS BOOKサブダイアログ937と同様に、1行内の表示項目は左から、選択マーク(または空白)、クラス(アドレス帳のclass属性の値)を表すアイコン、名前である。表示されているアドレス帳は、1つの行を押す事により選択表示状態(バックグラウンドの色が変更された状態)とすることが出来る。選択表示状態とすることが出来るのはどれか1行に限られ、現在選択されている行を再度押す事により、または現在選択されていない行を押す事により選択表示状態を通常の表示状態に戻す事が出来る。選択マークが表示されていない行を選択表示状態とすると選択マークが表示される。選択マークは選択表示状態を解除しても表示され続ける。選択マークは同時に複数行で表示させることが可能である。選択マークが表示されている行を選択表示状態とすると、表示されている選択マークは消去される。SEARCHサブダイアログ947が表示された直後は、何も表示されない。また、サーチ結果表示領域949の下部952に、サーチ結果の件数が表示されている。表示可能なのは3桁の数字である。サブダイアログ937と同様サーチ結果表示領域で選択マークのつけられた件数を表示する。表示可能なのは3桁の数字である。ソート項目設定ボタンもサブダイアログ937と同様である。

【0062】上向き下向きスクロールボタン951、DETAILボタン950を押したときの動作はサブダイアログ937の上向き下向きスクロールボタン944、DETAILボタン943を押したときの動作と同じである。

【0063】OKボタン953を押すとSEARCHサブダイアログ947がクローズされ、SEND設定画面(図7)が表示される。選択マークが表示されたサーチ結果はSEND設定画面

の宛先一覧に追加される。追加された結果、詳細宛先706の最大数を超える場合は、その旨を表示するエラーダイアログが表示され、最大数を超えない分の宛先のみが追加される。キャンセルボタン954を押すとSEARCHサブダイアログ947がクローズされ、SEND設定画面(図7)が表示される。一旦サブダイアログ947がクローズされると、サーチ結果は破棄され、選択マークの表示はクリアされる。また、SEARCHサブダイアログ947をクローズしてもADDRESS BOOKサブダイアログ937が表示されるのではなく、SEND設定画面(図7)が表示される。

【0064】図27のDETAILサブダイアログ955には、詳細情報表示領域956と上向き下向きスクロールボタン957およびCloseボタン958がある。詳細情報表示領域956にはアドレス帳の詳細情報が表示される。詳細情報が表示領域に入りきらない場合は、上向き下向きスクロールボタン957を押す事により1行毎に下または上に一覧が移動する。詳細情報が表示領域956に入っている場合は、これらのボタンは押すことは出来るが機能しない。Closeボタン958を押すと、DETAILサブダイアログ955はクローズされる。

【0065】以上のサブダイアログ901, 904, 919, 937, 947, 955がそれぞれのOKボタンまたはcloseボタン、キャンセルボタンを押されることにより、クローズした後は、それぞれのサブダイアログにおける設定が反映された状態の元のSEND設定画面(図7)へ遷移する。

【0066】次に図11のRETRIEVE設定画面における各キーの詳細を説明する。

【0067】BOOK MARKボタン813を押すと、図28に示すようなBOOK MARKサブダイアログ1001が表示される。ブックマーク表示領域1004には、自機に保持されているブックマーク設定情報の内容(タイトルのみ)が一覧表示される。ブックマーク表示領域1004に表示されている一覧は、どれか一つの行を押す事に押す事によって選択表示状態とすることが出来る。選択表示状態とすることが出来るのはどれか1行に限られ、現在選択されている行を再度押す事により、または現在選択されていない行を押す事により選択表示状態を通常の表示状態に戻す事が出来る。ブックマークが表示領域1004に入りきらない場合は、ブックマークスクロールボタン1005を押す事により1行単位で下または上に一覧が移動する。ブックマークが表示領域1004に入っている場合は、押すことは出来るが機能しない。

【0068】OKボタン1006を押すとBOOK MARKサブダイアログ1001がクローズされ、選択状態の項目の該当するURLがURL入力領域805fに入力される。この場合、すでにURL入力領域805fに入力されていた内容は削除される。選択状態の項目が無い場合は入力されない。キャンセルボタン1007を押すとBOOK MARKサブダイアログ1001がクローズされる。一旦サブダイアログがクローズされると選択状態はクリアされる。Localボタン1002、Task Listボ

タン1003により、その他のブックマーク設定を行うことが可能である。

【0069】PUT INTO HDチェックボタン816は、サブ画面800, 820, 821, 822のいずれが表示されていても、チェックが表示されていない状態で押すと図29に示すようなHD SETTINGサブダイアログ1008が表示される。チェックが表示されている状態で押すとチェックが消去される。このサブダイアログは、前述した図22におけるHD SETTINGサブダイアログ901と同様である。

【0070】サブ画面800, 820, 821, 822のいずれが表示されていても、PRINT SETTINGボタン819(図14)を押すと図30に示すようなPRINT SETTINGサブダイアログ1011が表示される。このサブダイアログは、前述した図23におけるPRINT SETTINGサブダイアログ904に、HEADER/FOOTERに関する設定を可能とする、HEADER/FOOTERチェックボタン1012が追加されたものとなっている。HEADER/FOOTERチェックボタン1012にチェックが表示されていない場合にチェックボタンを押すと、チェックが表示される。チェックが表示されている場合に押すと、チェックが消去される。

【0071】以上のサブダイアログ1001, 1008, 1011がそれぞれのOKボタン、キャンセルボタンを押すことによりクローズした後は、それぞれのサブダイアログにおける設定が反映された状態の元のRETRIEVE設定画面(図11)へ遷移する。

【0072】次に、Tasksタブキー403が選択された時の設定画面について説明する。

【0073】Tasks設定画面では、定期的にRETRIEVEを行うタスクの生成・管理を行う。FAXやインターネットプリントなどの外部から送られるドキュメントを自動処理するためのタスクの生成・管理を行うことが可能である。

【0074】図31のTasks設定画面では、WWWサブタブキー1102からWWWサブ画面、E-mailサブタブキー1103からE-mailサブ画面、PrintReceiveサブタブキー1104からPrintReceiveサブ画面、FaxReceiveサブタブキー1105からFaxReceiveサブ画面、FaxPollingサブタブキー1106からFaxPollingサブ画面へ遷移可能であり、更なる詳細の設定表示が可能である。

【0075】WWWサブ画面における、WWWタスク一覧表示領域1107には、機器内に保持されているタスクが入力された順番で表示される。一つのタスクが1行として表示され、1行内の表示項目は左から、選択マーク(または空白)、URL、スケジュールである。表示されるWWWタスク一覧は、1つの行を押す事により選択表示状態(バックグラウンドの色が変更された状態)とすることが出来る。選択表示状態とすることが出来るのはどれか1行に限られ、現在選択されている行を再度押す事により、または現在選択されていない行を押す事により選択表示状態を通常の表示状態に戻す事が出来る。選択マークが表

示されていない行を選択表示状態とすると選択マークが表示される。選択マークは選択表示状態を解除しても表示され続ける。選択マークは同時に複数行で表示させることが可能である。選択マークが表示されている行を選択表示状態とすると、表示されている選択マークは消去される。選択マークが表示されているタスクは実際に実行される。選択マークが表示されていないタスクはタスクとして機器内に保持されている。タスクの一覧が表示領域に入りきらない場合は、上向き下向きスクロールボタン1108とがあり、ボタンを押す事により一行単位で下または上に一覧が移動する。

【0076】NEWボタン1109を押すと図32に示すようなWWWタスク詳細サブダイアログ1112が表示され、新規タスクの入力が可能となる。新規に入力されたタスクは選択マークが表示されている状態となっている。WWWタスク一覧から1つタスクを選択表示状態とした後にDELETEボタン1111を押すと、選択されたタスクは削除される。WWWタスク一覧から1つタスクを選択表示状態とした後にEDITボタン1110を押すと、選択されたタスク情報が含まれるWWWタスクサブダイアログ1112が表示され、WWWタスクの設定を変更することが可能である。

【0077】WWWタスクサブダイアログ1112には、URL入力領域1113、LINK DEPTH入力領域1115、LINK DEPTHカウントアップ・ダウンボタン1114、MAX PAGES入力領域1117、MAX PAGESカウントアップ・ダウンボタン1116、LIST OF LINKSチェックボタン1118、OTHER DOMAINチェックボタン1119、PRINT BACKGROUNDチェックボタン1120、BOOK MARKボタン1121、ADD BOOK MARKボタン1122、BROWSEボタン1123、PRINT SETTINGボタン1129、ハードディスク入力チェックボタン1127等が設けられている。

【0078】BOOK MARKボタン1121、ハードディスク入力チェックボタン1127、PRINT SETTINGボタン1129を押すとそれぞれ図36、図37、図38に示すような、BOOK MARKサブダイアログ1144、HD SETTINGサブダイアログ1145、PRINT SETTINGサブダイアログ1146が表示される。これらのサブダイアログは前述したものと同じである。

【0079】NEWボタン1109(図31)を押してサブダイアログ1112が表示された場合は、URL表示領域1113は空白、LINK DEPTH表示領域1115は0、MAX PAGES表示領域1117は0、CHECK TIME表示領域1125は空白、PRINT SETTINGボタン1129は自機のデフォルト設定がなされている。

【0080】チェックタイム表示領域1125には、タスクが実行される時間が表示されている。毎週の指定として時間、曜日の表示、一度きりの指定として日付、時間の表示、毎月の指定として日、時間を表示がされる。

【0081】PRINT WHEN CHANGEDチェックボタン1126にチェックが表示されていない場合にチェックボタンを押すと、チェックが表示される。チェックが表示されている場合に押すと、チェックが消去される。新規タスク設定時にはチェックは表示されていない。転送チェックボ

タン1128は押すたびにチェックが表示されたり消去されたりを繰り返す。初期化時（リセット時も含む）にはチェックは表示されていない。

【0082】OKボタン1130を押すと、サブダイアログ112はクローズされる。NEWボタン1109によってサブダイアログが表示された場合はタスクが追加され、EDITボタン1110によって表示された場合は既存タスク変更時には設定が変更される。キャンセルボタン1131を押すとサブダイアログはクローズされ、設定は破棄される。

【0083】チェックタイム設定ボタン1124を押すと、図33、図34、図34に示すようなチェックタイムサブダイアログが表示される。チェックタイムサブダイアログ（1230）が表示された直後はチェックタイム表示領域1125に表示されている内容が反映されている。1133、1134、1132はスケジュールモード設定ボタンであり、それぞれ一回指定Once、毎週指定Weekly、毎月指定Monthlyに対応し、どれか一つのみを押す事が出来る。新規タスク設定時には、Weeklyボタン1134が押された状態となっている。

【0084】スケジュールモードがOnceの場合（図34）、月入力領域1141は月を設定する領域である。入力領域を押すとテンキーボードが表示され、数値の入力が行われる。月入力領域カウントアップボタン・ダウンボタン1142を押すことにより、設定月の値を1つつ増加させることが出来る。

【0085】スケジュールモードがWeeklyの場合（図35）、曜日設定チェックボタン1143により曜日を設定する。SUN・MON・TUE・WED・THU・FRI・SATの各ボタンがあり、同時に複数を押す事が出来る。

【0086】スケジュールモードがOnceまたはMonthlyの場合（図33、34）、日付入力領域1135は、日を設定する領域である。入力領域を押すとテンキーボードが表示され、数値の入力が行われる。日付力領域カウントアップボタン・ダウンボタン1136を押すことにより、設定月の値を1つつ増加させることが出来る。

【0087】時間入力領域1137は、時間を時と分で入力する領域である。入力領域を押すとテンキーボードが表示され、数値の入力が行われる。日付力領域カウントアップボタン・ダウンボタン1138を押すことにより、設定月の値を1つつ増加させることが出来る。

【0088】OKボタン1139を押すとCheck Timeサブダイアログがクローズされ、設定が保される。日付・時間の設定に誤りがあった場合はその旨を示すメッセージ（“Invalid date or time”）を表示したエラーダイアログが表示され、Check Timeサブダイアログはクローズされない。日付チェックには閏年は考慮されない。キャンセルボタン1140を押すとCheck Timeサブダイアログはクローズされ、設定は破棄される。

【0089】次に、MANAGEMENTタブキー404が選択された時の設定画面について説明する。

【0090】目的別タブの1つである、Managementタブ404が選択された場合は、Management機能として、ジョブ・アドレス帳・ブックマーク・ドキュメント・アカウント情報などの管理を行うための画面が表示される。

【0091】図39のManagement設定画面には、Jobサブタブキー1201、AddressBookサブタブキー1202、Bookmarkサブタブキー1203、Documentサブタブキー1204、Accountサブタブキー1205が表示されている。それぞれのサブタブキーが選択されることにより、それらに対応するジョブの管理を行うJobサブ画面・アドレス帳の管理を行うAddressBookサブ画面・ブックマークの管理を行うBookmarkサブ画面・ドキュメントの管理を行うDocumentサブ画面・アカウント情報などの管理を行うAccountサブ画面が表示され、自機器に関する管理のための設定が可能となる。初期化時（リセット時も含む）にはJobサブ画面が選択されている。

【0092】次に、Configurationタブキー405が選択された時の設定画面について説明する。目的別タブの1つである、Configurationタブキー405が選択された場合は、Configuration機能として、自機器に関しての設定（ネットワーク・時計など）の設定を行うための画面が表示される。

【0093】図40のConfiguration設定画面には、Networkサブタブキー1301、E-Mail/WWWサブタブキー1302、Directoryサブタブキー1303、UserIDサブタブキー1304、Maintenanceサブタブキー1305、Timeサブタブキー1306が表示されている。それぞれのサブタブが選択されることにより、それらに対応する自機のNetworkに関する設定を行うNetworkサブ画面・自機のE-Mail/WWWに関する設定を行うE-Mail/WWWサブ画面・自機のDirectoryに関する設定を行うDirectoryサブ画面・自機のUserIDに関する設定を行うUserIDサブ画面・自機のMaintenanceに関する設定を行うMaintenanceサブ画面・自機のTimeに関する設定を行うTimeサブ画面が表示され自機器に関する管理のための設定が可能となる。初期化時（リセット時も含む）にはNetworkサブ画面が選択されている。

【0094】以上説明した各目的別タブキー400～405の選択により表示される設定画面はそれぞれ異なる色の背景となっており、現在の画面が何を設定するための画面であるのか色が識別されるため複雑さを軽減させることが可能である。また、画面が目的別に色表示になっていることにより、システムが実行中の場合にも、現在何が実行されているかを画面の色による判断で可能となる。

【0095】また、各タブキーで選択画面が切り替えられた場合に、各設定画面毎に異なる音を発生させることにより現在どのような動作に切り替えられたかを容易に知ることが可能となる。

【0096】図5で示されるフローチャートに基づくプ

プログラムは、記憶媒体213に図42のように記憶されたものでも良い。

【0097】記憶媒体213に記憶されたネットワーク接続装置管理プログラム及び関連データは、図43に示すようにFDドライブ209を通じてコンピュータシステムC00にロードすることが出来る。この記憶媒体231をFDドライブ209にセットすると、図41に示すOS(A02)及び基本I/Oプログラム(A01)の制御のもとにネットワーク接続装置管理プログラム及び関連データが記憶媒体213から読み出され、RAM204にロードされて動作可能となる。

【0098】図41はネットワーク接続管理プログラムがRAM204にロードされ、実行可能となった状態を示す。構成として、基本I/Oプログラム(A01)、OS(A02)、ネットワーク接続装置管理プログラム(A03)、関連データ(A04)、ワークエリア(A05)が図41のように配置される。

【0099】また、記憶媒体213からネットワーク接続装置管理プログラム及び関連データを直接RAM204にロードして実行させるほかに、記憶媒体213からネットワーク接続装置管理プログラム及び管理データを一旦HD210に格納（インストール）しておき、ネットワーク接続装置管理プログラムを動作させるときにHD210からRAM204にロードするようにしてもよい。

【0100】また、ネットワーク接続管理プログラムを記憶記録する媒体はFD以外にCD-ROM、光磁気ディスク、ICメモリーカード等であっても良い。さらにネットワーク接続管理プログラムをROM204に記憶しておき、これをメモリマップの一部となすように構成し、直接CPU205で実行することも可能である。

【0101】

【発明の効果】以上説明した様に本発明によれば、機能別のタブキーによる設定画面の選択ではなく、利用者の立場から見た目的別のタブキーにより設定画面を選択できるので、使用するシステムの機能を詳しく知らなくても設定画面の選択が容易になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用できるシステム構成を示す図。

【図2】複合機の構成を示すブロック図。

【図3】複合機の操作部を示す図。

【図4】コピー設定画面を示す図。

【図5】動作モードの設定を示すフローチャート。

【図6】コピー設定画面を示す図。

【図7】送信設定画面を示す図。

【図8】送信設定画面を示す図。

【図9】送信設定画面を示す図。

【図10】キーボードの表示を示す図。

【図11】取り出し設定画面を示す図。

【図12】取り出し設定画面を示す図。

【図13】取り出し設定画面を示す図。

【図14】取り出し設定画面を示す図。

【図15】取り出し設定画面を示す図。

【図16】取り出し設定画面を示す図。

【図17】取り出し設定画面を示す図。

【図18】倍率設定サブダイアログを示す図。

【図19】給紙選択サブダイアログを示す図。

【図20】ソートモード選択サブダイアログを示す図。

【図21】両面設定サブダイアログを示す図。

【図22】HD設定サブダイアログを示す図。

【図23】プリント設定サブダイアログを示す図。

【図24】スキャン設定サブダイアログを示す図。

【図25】アドレスブックサブダイアログを示す図。

【図26】アドレス検索サブダイアログを示す図。

【図27】アドレス詳細サブダイアログを示す図。

【図28】ブックマークサブダイアログを示す図。

【図29】HD設定サブダイアログを示す図。

【図30】プリント設定サブダイアログを示す図。

【図31】タスク設定画面を示す図。

【図32】タスク設定サブダイアログを示す図。

【図33】タスクの時間設定サブダイアログを示す図。

【図34】タスクの時間設定サブダイアログを示す図。

【図35】タスクの時間設定サブダイアログを示す図。

【図36】ブックマークサブダイアログを示す図。

【図37】HD設定サブダイアログを示す図。

【図38】プリント設定サブダイアログを示す図。

【図39】管理設定画面を示す図。

【図40】環境設定画面を示す図。

【図41】メモリマップを示す図。

【図42】プログラム構成を示す図。

【図43】プログラムのロードを説明する図。

【符号の説明】

4 複合機

6 ネットワーク

301 タッチパネルディスプレイ

400 コピータブキー

401 送信タブキー

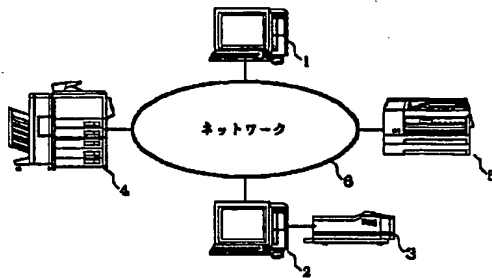
402 取り出しタブキー

403 タスクタブキー

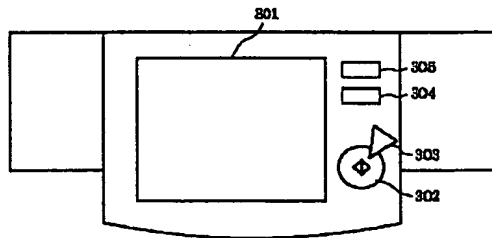
404 管理タブキー

405 環境設定タブキー

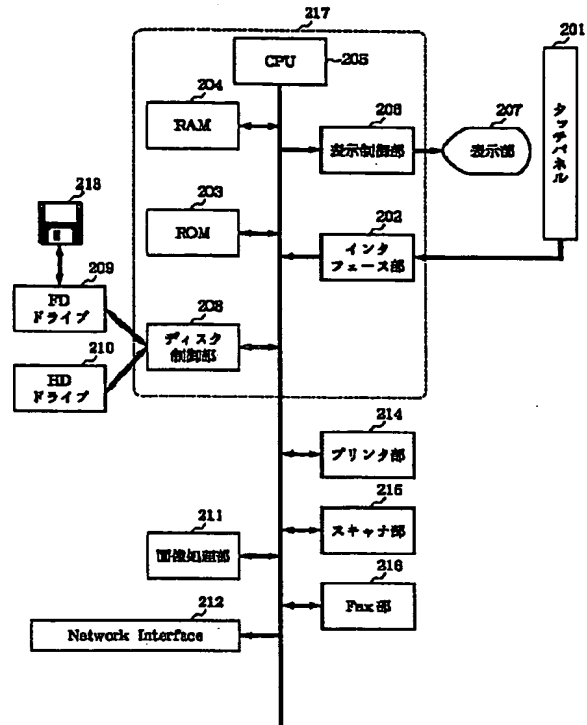
【図1】



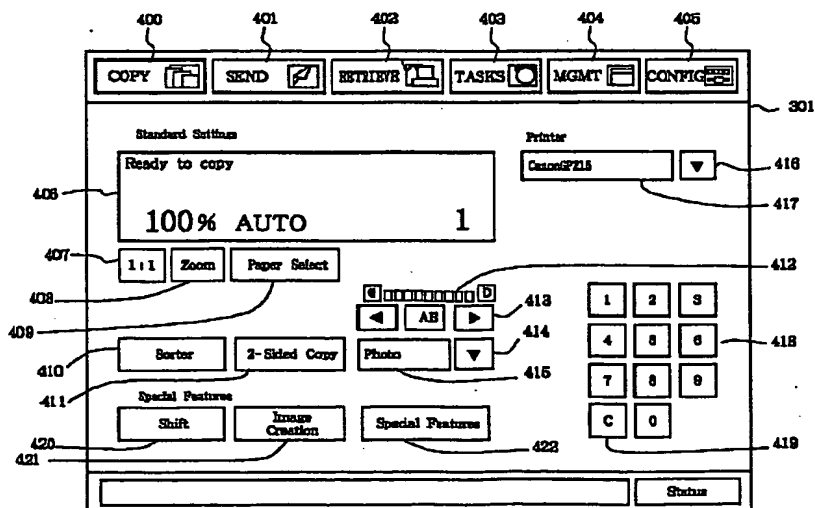
【図3】



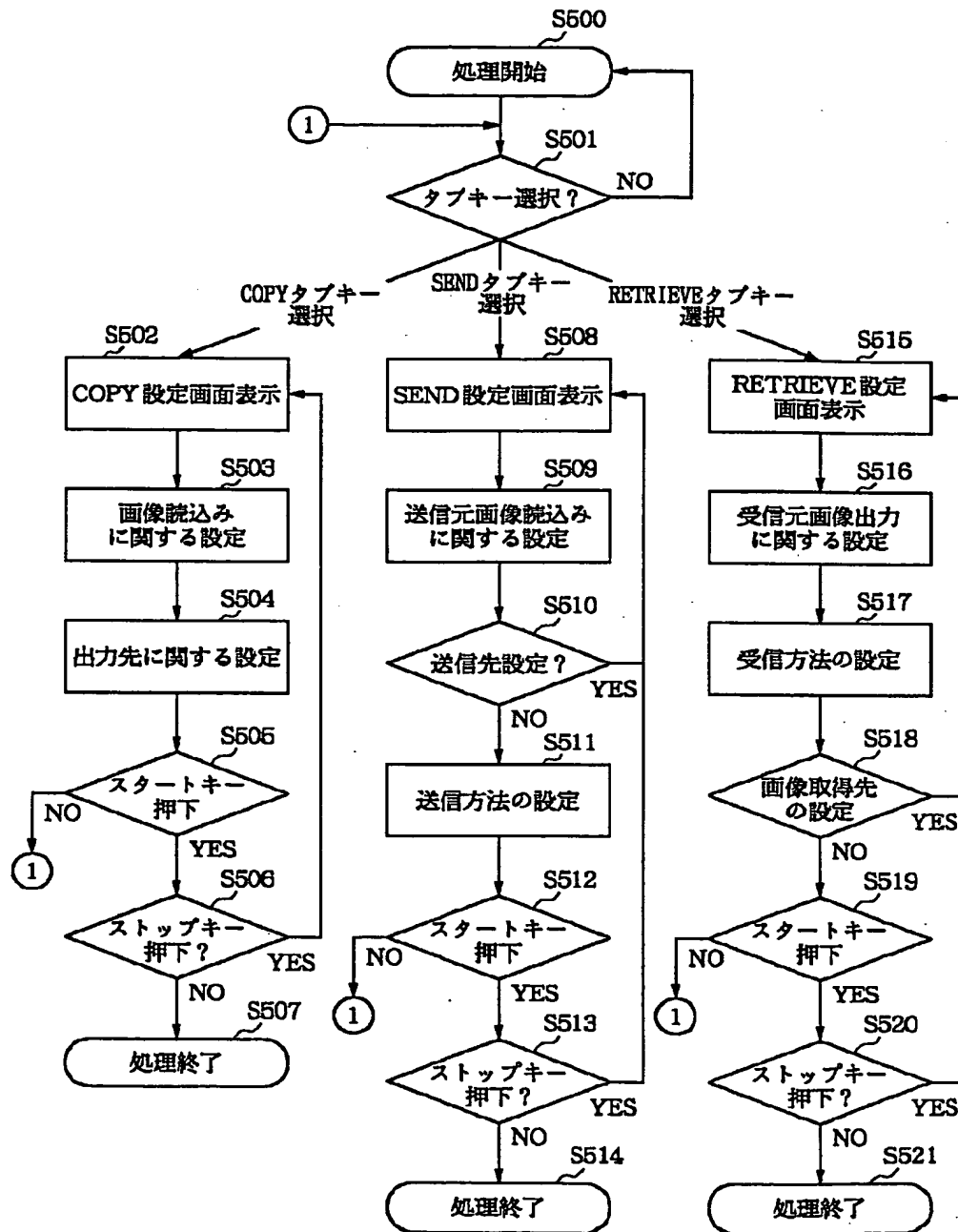
【図2】



【図4】

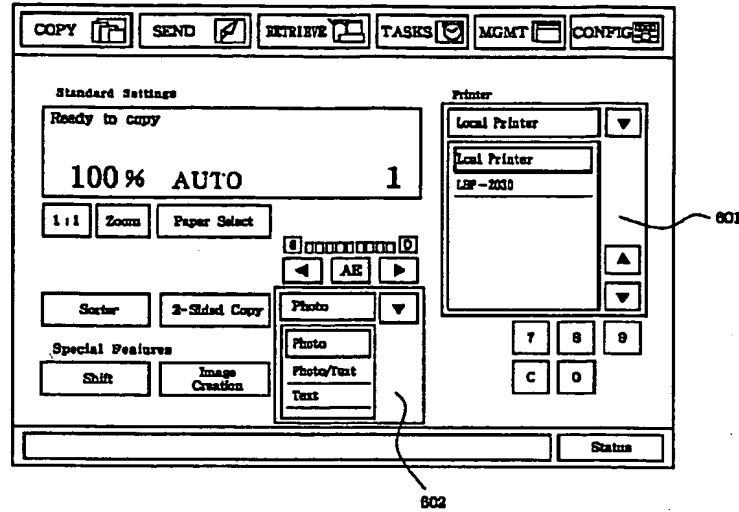


【図5】

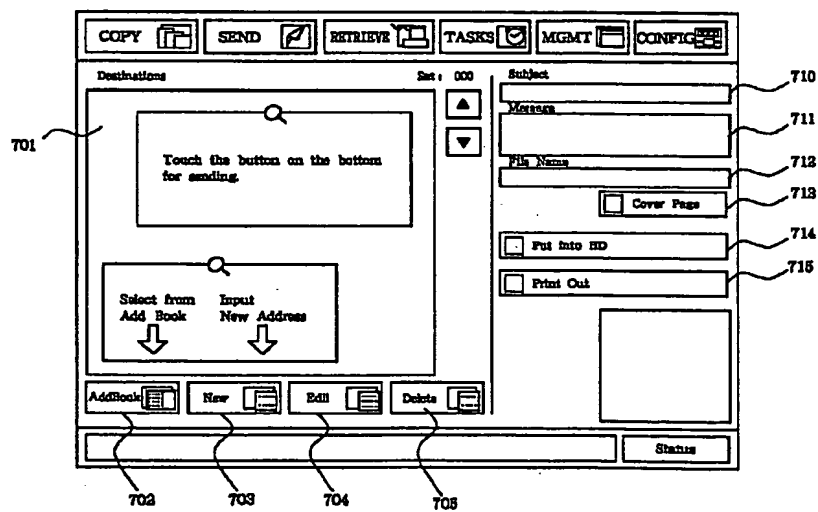




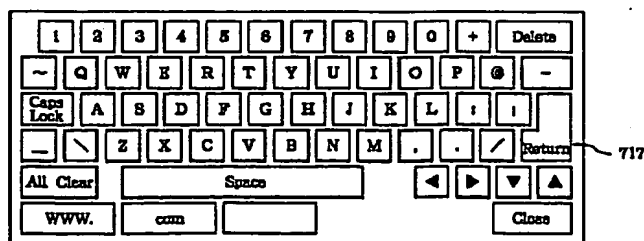
【図 6】



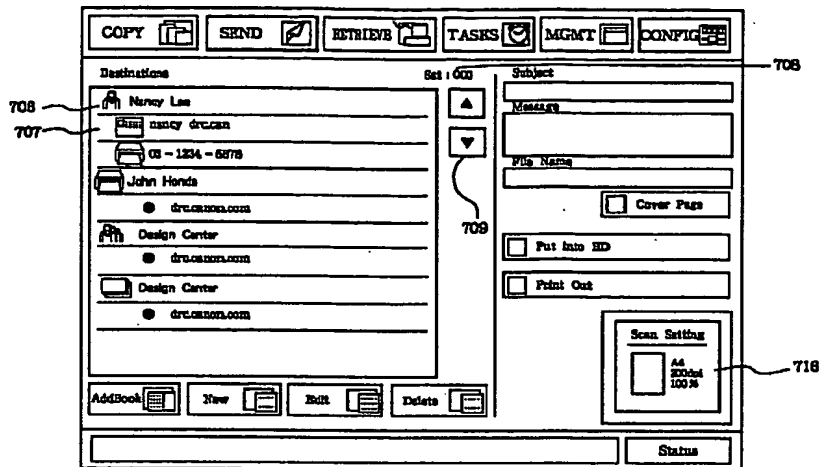
【図 7】



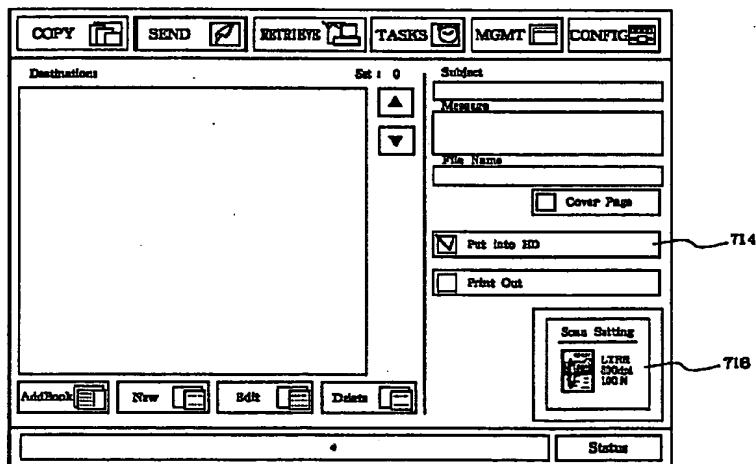
【図 10】



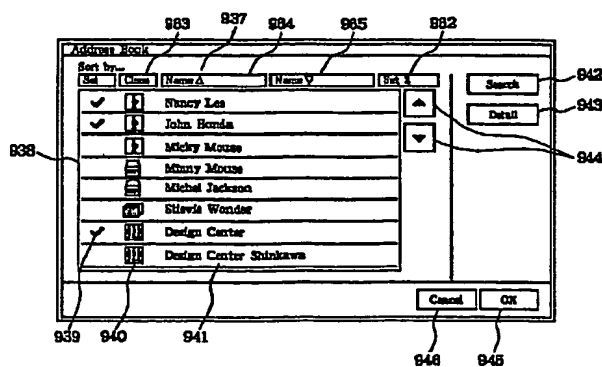
【図8】



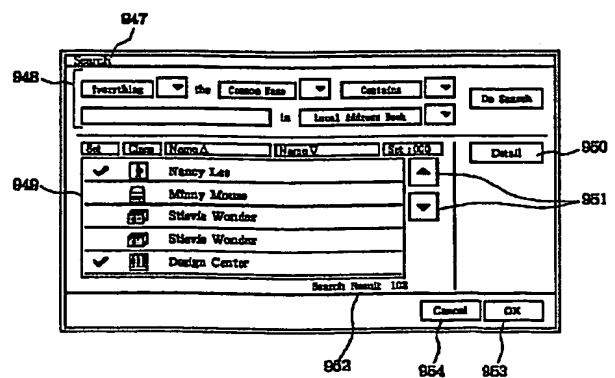
【図9】



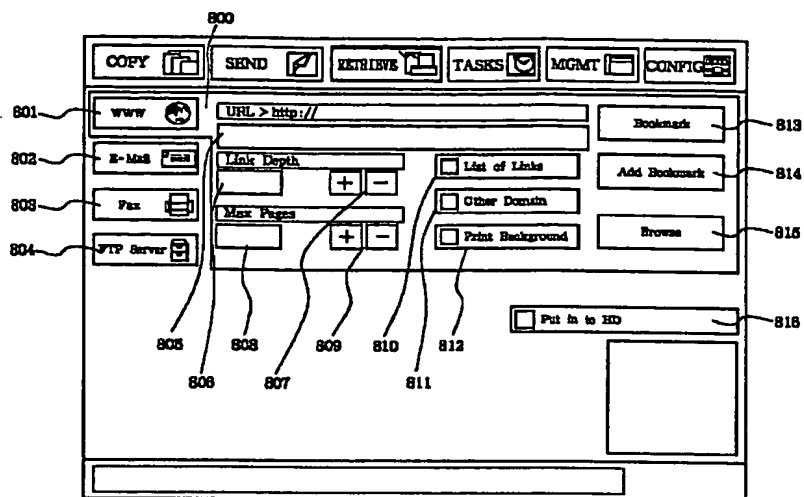
【図25】



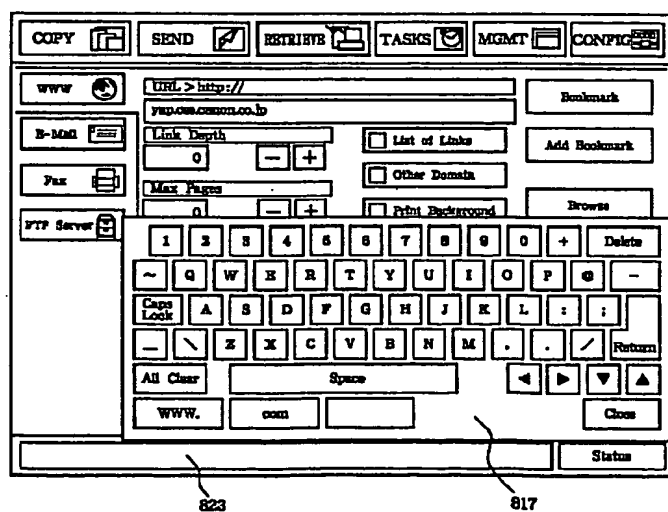
【図26】



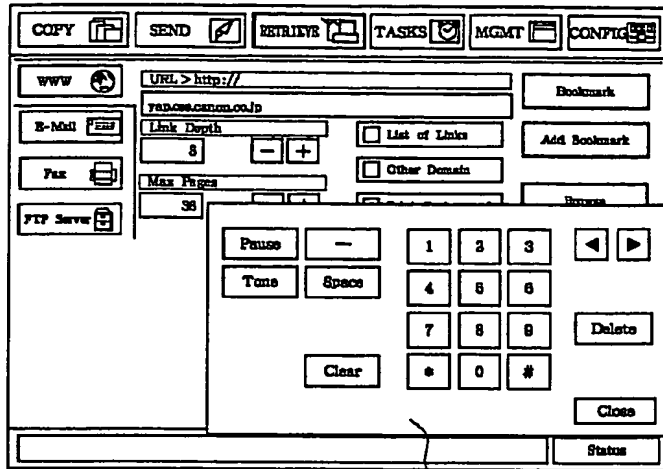
【図11】



【図12】

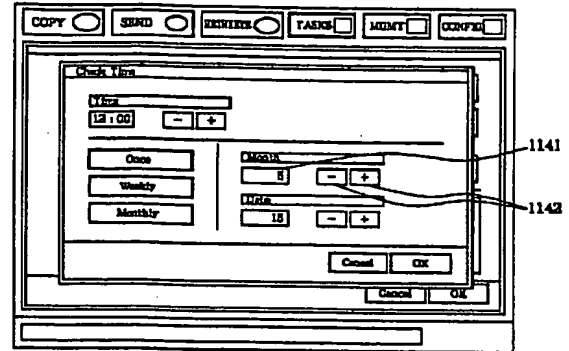


【図13】



818

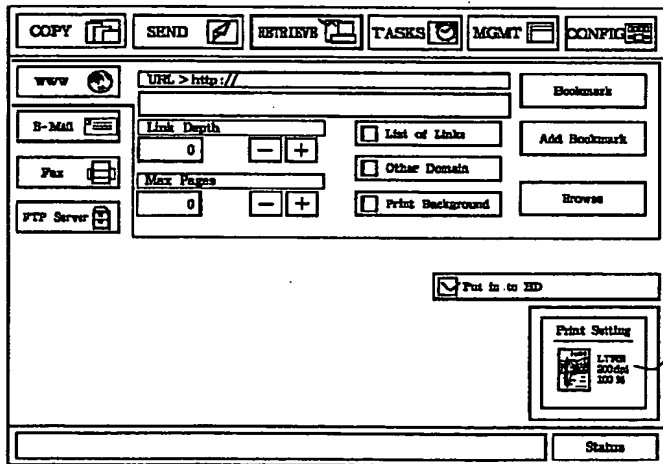
【図34】



1141

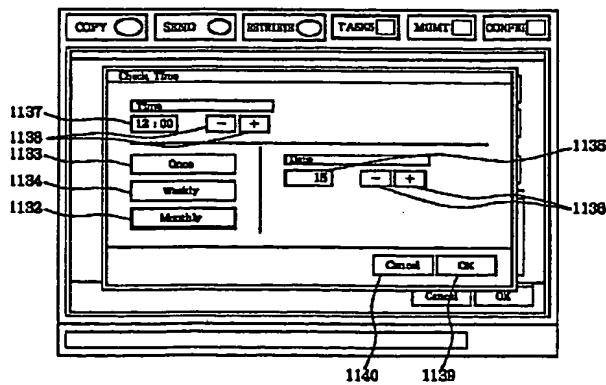
1142

【図14】



819

【図33】



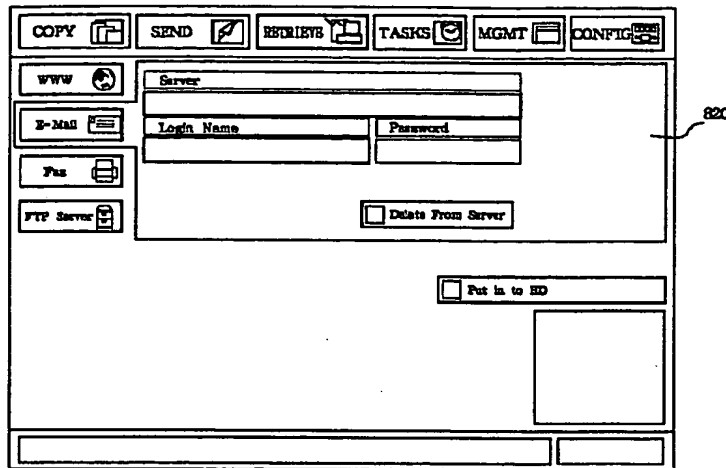
1135

1136

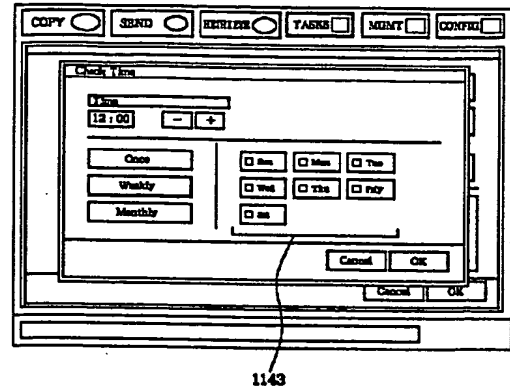
1140

1139

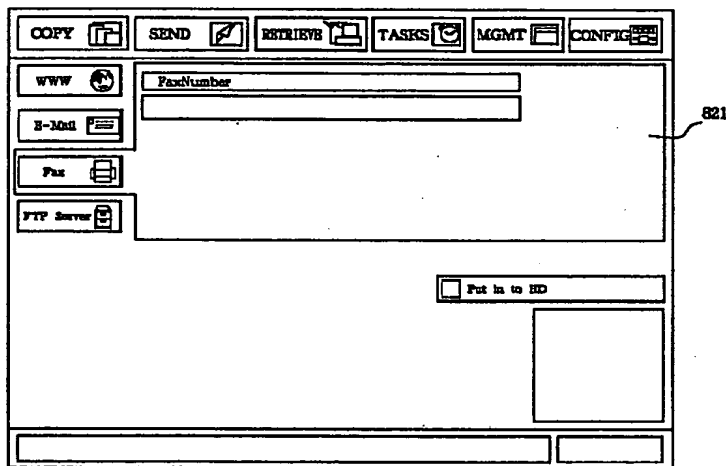
【図15】



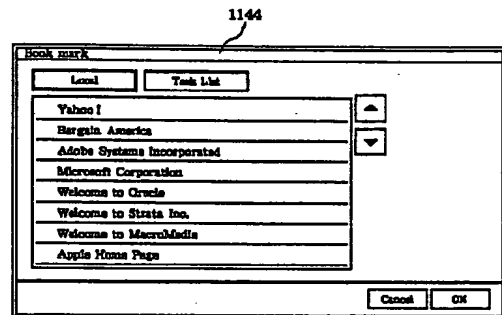
【図35】



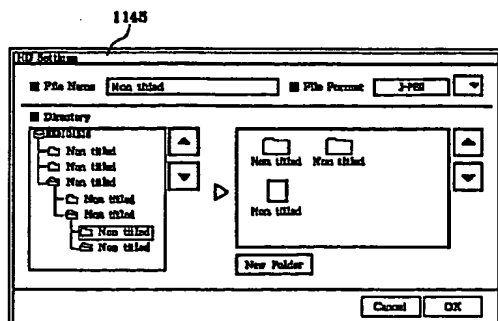
【図16】



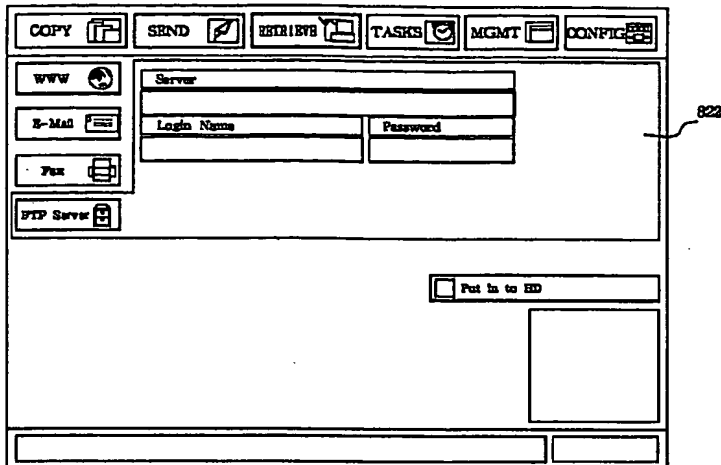
【図36】



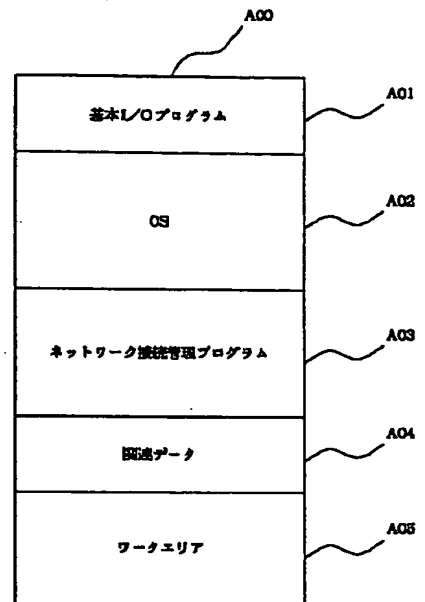
【図37】



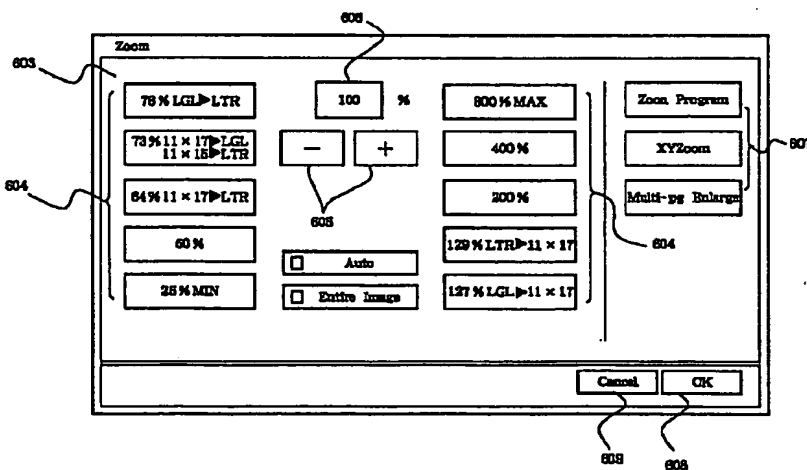
【図17】



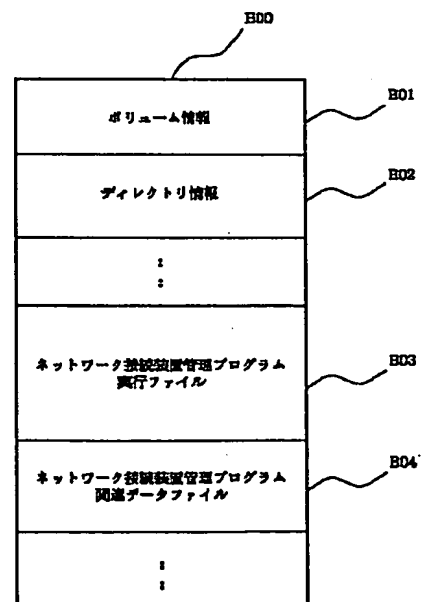
【図41】



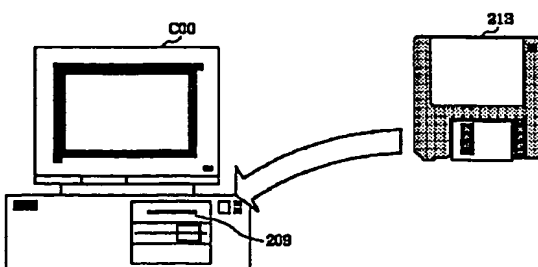
【図18】



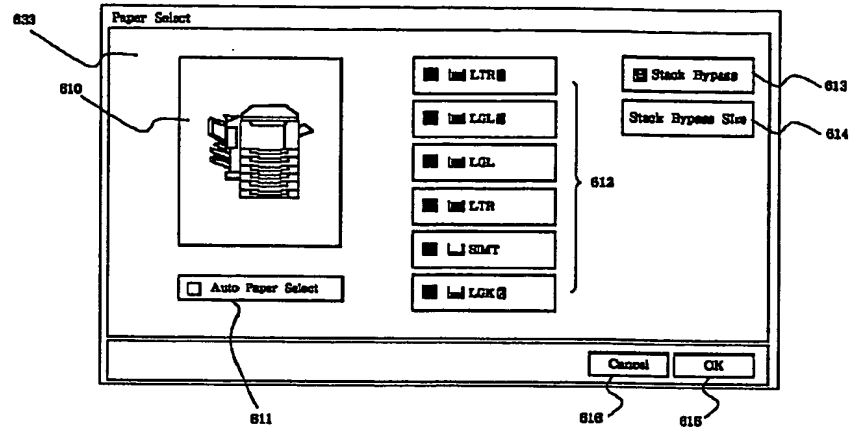
【図42】



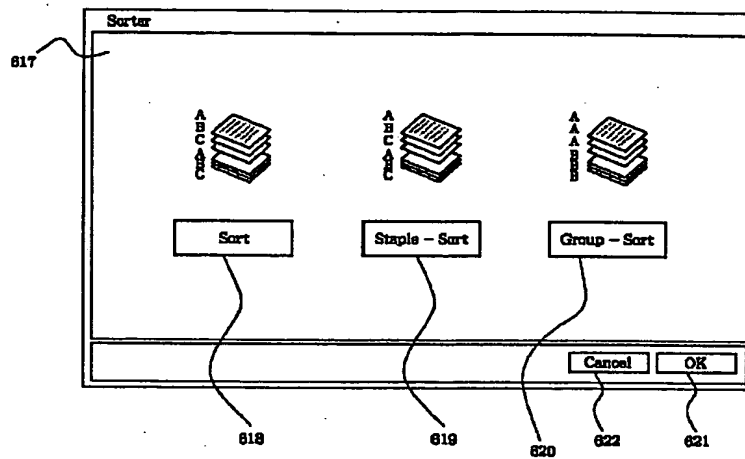
【図43】



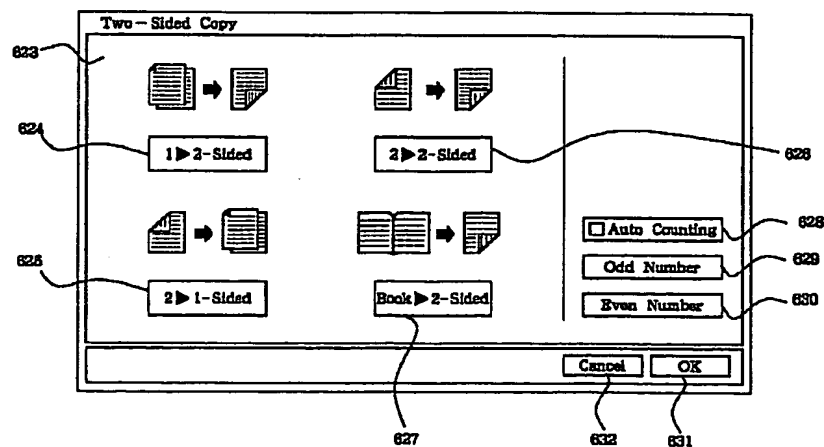
【図19】



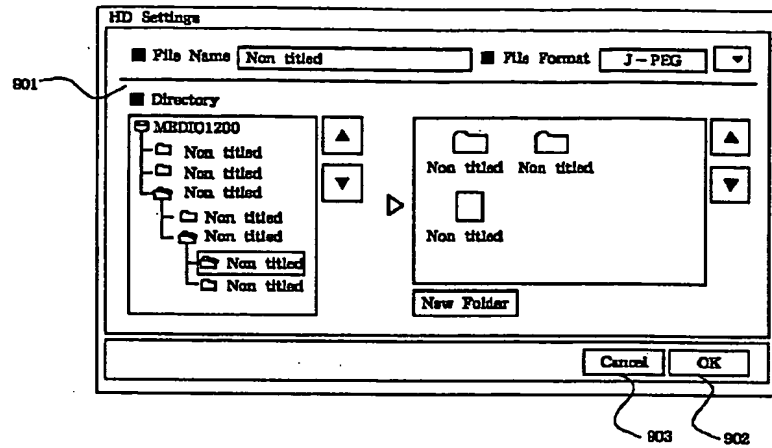
【図20】



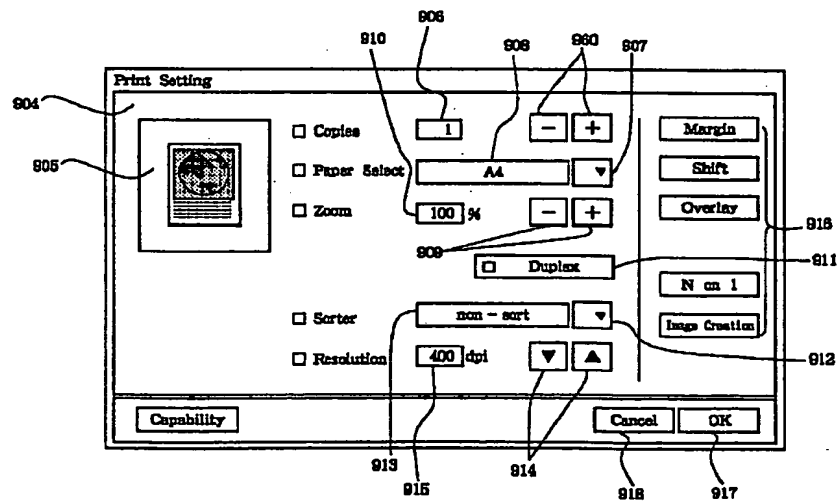
【図21】



【図22】

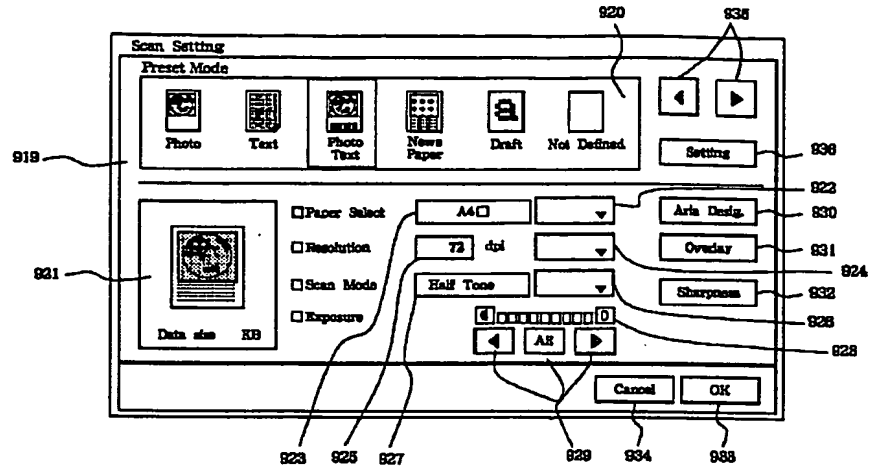


【図23】

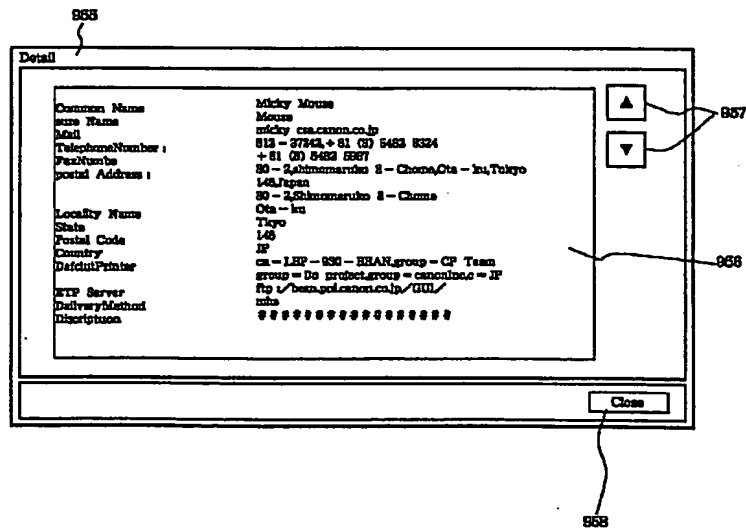




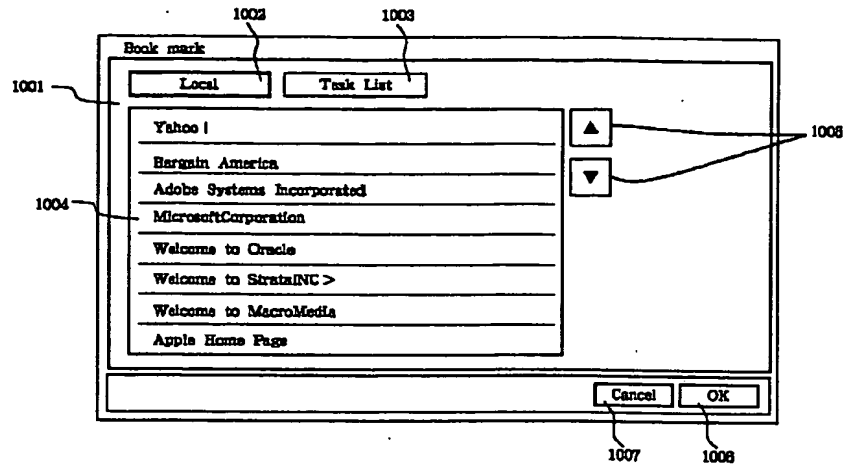
【図24】



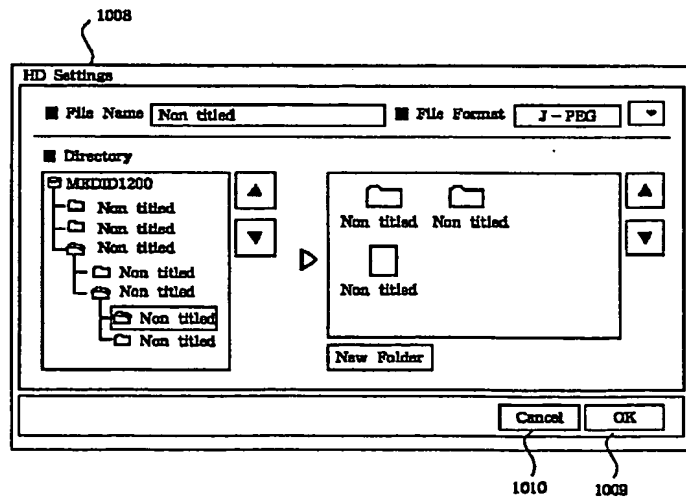
【図27】



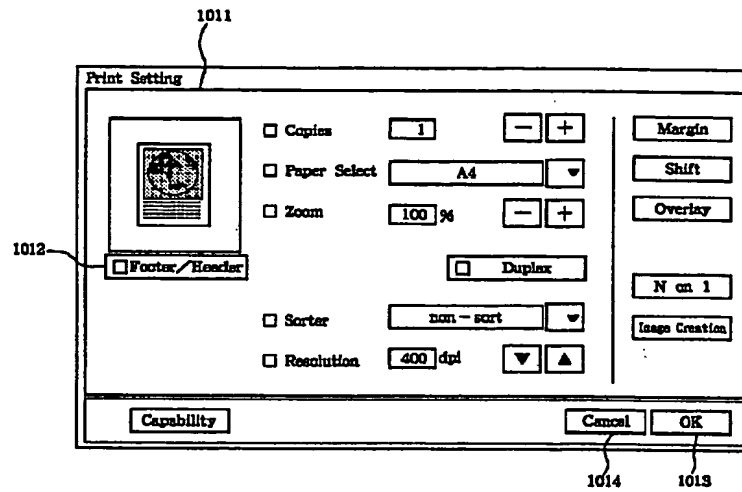
【図28】



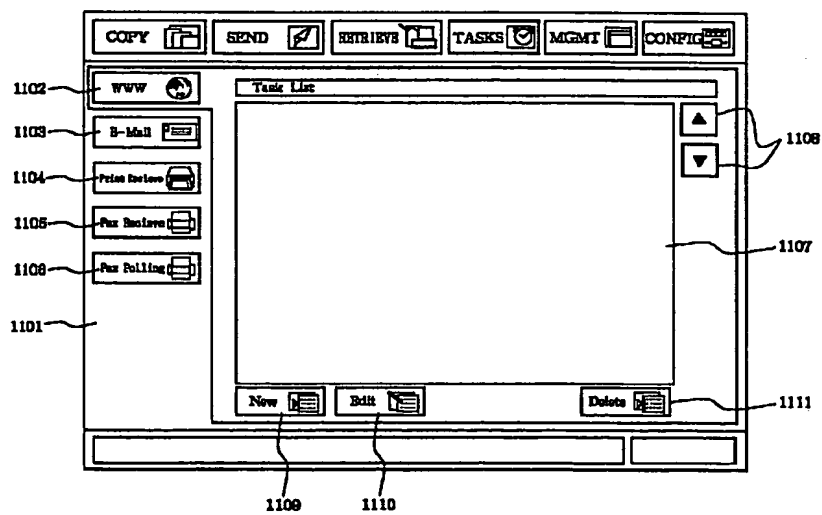
【図29】



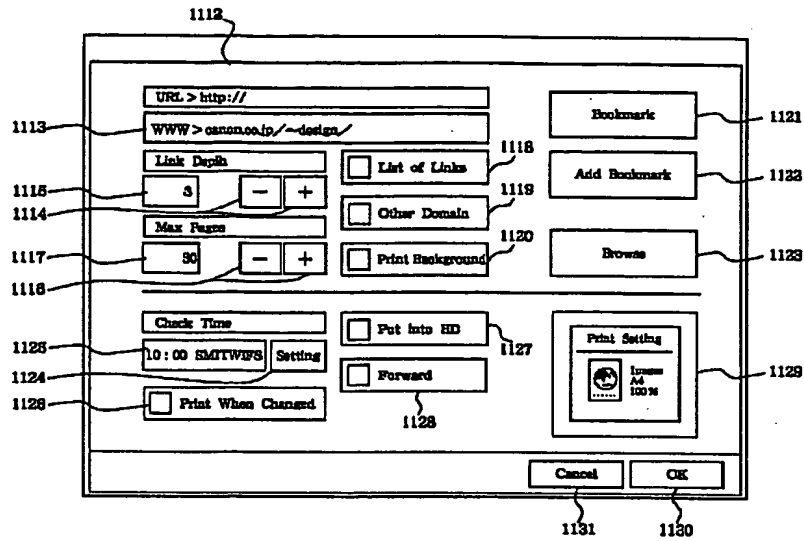
【図30】



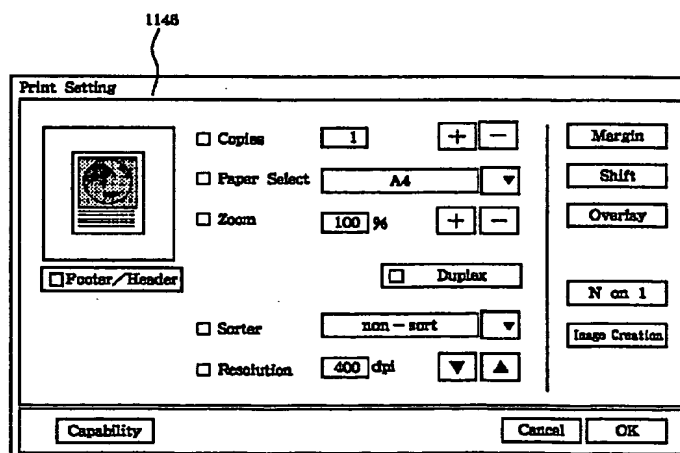
【図31】



【図32】



【図38】



【図39】

【図40】